



自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』



2学期も半分が過ぎました

8日（水）は立冬でしたが、少しずつ寒さが増してきたように感じます。いろいろな行事が予定されており慌ただしい毎日ですが、2学期も半分が過ぎてしまいました。今週の全校集会では、「励徳プライド」が表現できているかについて子どもたちに採点してもらいました。6年生に聞いてみると「6年生では10点満点中8点、全体では5点」と少し辛めの評価となりましたが、着実によくなっていると感じます。特に、あいさつや発表の声が大きくなっている、少しずつ自信をつけてきているように思います。これが一部の狭いところだけにとどまらず、外に出ても表現できるように力をつけていってほしいと思います。

もう一つ、励徳小では学習の目標設定や児童会のスローガン達成のために「山登り」をイメージしてそれぞれの地点の目標を決めていますが、先日の野口健さんの山登りの「途中は登ったり下りたりしながら酸素の濃度に体を慣らしていく」という話を引用して、目標達成をイメージさせました。できなかったら、もう一度以前を振り返ることも大切だということです。いろいろなところでゴールを目指し、山登りと同じように達成感を味わってほしいと思います。

恒例ウォークラリー

～今年は

洞岳地区～

2日（木）に、歩きながら「ふるさと」を実感する恒例のウォークラリーを実施しました。子どもたちと一緒に歩きながら、景色や風、においを感じました。井澤さんをはじめ、フットパス協会の方々には大変お世話になりました。歩くことも大切ですが、その合間に説明される内容にいつも「学び」があります。子どもたちの中にその内容が少しでも残っていることを願っています。（詳しくは励徳通信で）



★はうから★

～キラリと光るために～

朝からのあいさつは、一日のスタートにおいて、自分や周囲の人を元気にする効果があります。オトンとオフを切り替え学校での学びをたくさん得るためにも、朝からの元気なあいさつを心がけてほしいと思います。

朝から元気よく
あいさつのき合いをいれ
朝学校に来た時
さかの前にいる校長先生
元気よく大きな声であい
地いきの人にも
元気よくあいさつをする



「あいきつ名人」
二年 松本 城都

私もたくさん元気
をもらっています。いっしょにあいさつを頑張ろう。

もっとサイエンス



全校集会で「ぎんなんがくさいのはなぜ?」という話をしました。そこで、ちょっとだけイチョウについて紹介しておきます。イチョウは、以前紹介した玄関のソテツと同じ「**裸子植物**」のなかまでです。「子どもが裸」つまり種子になる部分が包まれていない植物です。種子を包む部分は実になるので、落ちているぎんなんは、**全部種子の部分**ということになります。

それでは、くさいと感じる理由は何でしょう。それは、種子の外側の柔らかい部分にふくまれている成分が、人の足の悪臭や排泄物にふくまれる成分と同じであることから、不快に感じる人が多いということです。なぜそんなにおいを発するのかなど、くわしいことは、ぜひ自分で調べてみてください。

お願い

い」ですが、職員室前に設置したケースにはほとんど何も入っていません。お家に眠っている、学用品、体育服、制服等はありませんか。消毒、修理等をして無料配布されますので、もしありましたら、提供をお願いします。

